

XXIII. ノルウェー王国

<要約>

	概要	特徴
1. 市場環境の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○社会構造 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総人口：536万人（2019年10月：IMF推計） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○経済環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人当たり GDP：77,975ドル（2019年10月：IMF推計） ・ 実質 GDP 成長率：1.9%（2019年10月：IMF推計） ・ 1ドル=8.78 ノルウェー・クローネ（NOK） /1NOK=12.43円(2019/12/31) 	
2. 金融制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○銀行等の業態分類（機関数、総資産、根拠法） <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業銀行（26、2.4兆 NOK、金融企業法） ・ 貯蓄銀行（98、1.5兆 NOK、金融企業法） ・ 外国銀行支店（35、一、欧州経済領域等に本店を有する銀行及び他の与信機関の支店に関する規則 326号、外国に本店を有する銀行支店の行政管理に関する規則 1102号等） ○監督官庁：ノルウェー金融監督庁、ノルウェー中央銀行 ○預金保険制度：ノルウェー国内居住の顧客に対し、1預金者につき1銀行の預金を200万 NOK まで保護。特定のライフイベント(例：不動産売却・離婚・相続)に伴い生じる預金についても、最大 12 ヶ月まで上限を設けずに保護。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2016年1月より金融企業法施行。 ○商業銀行最大手の DNB 銀行は、総資産額、預金残高、貸出残高の規模において他行を大きく引き離している。 ○財務省の管轄する年金基金や地方金融公社といった公的金融機関の存在感が大きい。 ○ノルウェーは EU 加盟国ではないが、EU 域内の預金保険制度と協調姿勢を採っている。

<p>3. 郵便貯金の現況</p>	<p>○郵便貯金制度・経営形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルウェー・ポストは、商業銀行最大手の DNB 銀行から業務を受託し、自社の郵便局ネットワークを活用して金融サービスを提供している。 <p>○郵便公社等との関係・拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立店舗型の郵便局が全国に 30 局、店内郵便局が 1,314 局、地方の移動郵便局が約 1,450 ヶ所存在する (2018 年 12 月末)。 <p>○顧客基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルウェー・ポストの営業免許に、社会的義務 (social obligations) として、地方郵便サービスにおける基本的な銀行サービスの提供 (basic services in the rural postal services) が挙げられている。 <p>○主な商品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預金の預け入れ・引き出し、振替、請求書払いといった金融サービスを行っている。 	<p>○現行の DNB 銀行とノルウェー・ポストとの契約は 2020 年中に終了する見通し。ノルウェー・ポストはサービス継続について検討中。</p> <p>○「ノルウェー・ポストを通じた銀行サービスに関する法律」により郵便局での金融サービス提供が規定されている。</p> <p>○DNB 銀行からノルウェー・ポストに手数料が支払われるほか、政府からも補助を受けている。</p>
<p>4. 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴</p>	<p>○個人金融資産 (2018 年 12 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総額：4 兆 6,781 億 NOK ・現預金：27.6% ・株式・債券・投資信託：26.2% ・生命保険・年金掛金等：43.9% ・ローン：2.2% <p>○銀行の家計預金残高 (2018 年 12 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総額：1 兆 2,532 億 NOK <p>○家計向けローンの機関別残高 (2018 年 12 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総額：3 兆 3,294 億 NOK ・商業銀行・貯蓄銀行：46.4% ・モーゲージ会社：44.1% ・ファイナンス会社：2.3% ・その他：7.2% 	<p>○銀行預金に占める家計の預金の割合は 33.6% (2018 年 12 月末)。</p> <p>○2015 年 6 月、住宅ローンに対して借入制限や借り手の返済能力の評価に関する新規制が発動された。</p> <p>○貯蓄銀行の銀行業界におけるプレゼンスは、2015 年に DNB 銀行の分類が貯蓄銀行から商業銀行に変更されたことで、やや低下。</p>

<p>○国際的な金融規制枠組への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際決済銀行（BIS）の定める資本規制バーゼルⅢを適用し、自主的により厳しい規制を導入した。 ・ EU の預金保険制度、銀行破綻処理制度とも協調し、国際的に預金者保護・銀行破綻リスク対応を行う制度を整えた。 <p>○郵便貯金の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011 年、ノルウェー・ポストはオンラインサービス Digipost の運用を開始した。顧客数は 187 万人（2018 年 12 月末） ・ ノルウェー・ポストの金融ユニバーサル・サービス提供義務の存廃を巡る議論が政府内で交わされた（2011 年）。 <p>○カード利用状況（2018 年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カード発行枚数：1,461 万枚 ・ 年間取引件数：24 億 6,970 万件 ・ 年間取引額：8,667 億 NOK <p>○モバイル決済アプリの利用状況（2018 年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決済件数：1 億 3,140 万件 ・ 決済金額：623 億 NOK <p>○政府によるフィンテック対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府内に ICT セキュリティの中核組織を設置する準備が進行中。 ・ 暗号資産に対する規制を検討。 ・ 中央銀行が発行するデジタル通貨（CBDC）の導入を検討。 <p>○国際的な連携に向けた動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年 3 月に DNB 銀行は、北欧 4 カ国の主要銀行 7 行で複数通貨の共通決済インフラを構築するという構想から離脱。 	<p>○現行の預金保険制度の水準を下回る EU 預金保険スキーム指令（保証額上限 10 万ユーロ）については、運用を見送っている。</p> <p>○2012 年以降、ノルウェー・ポストによる銀行サービスの提供義務は、郵便局や店舗内郵便局が配置されていない地方に限定された。このサービスにかかる費用は政が負担。</p> <p>○ノルウェーの 1 人当たりカード利用件数は、世界でトップクラスの水準。</p> <p>○国内のモバイル決済アプリは、DNB 銀行が提供を開始した Vipps に集約（2018 年）。</p> <p>○Apple Pay と Google Pay が国内でモバイル決済アプリサービスを開始（2018 年）。</p> <p>○CBDC が検討されている背景には、現金利用の減少がある（cf.貨幣流通高が現金・預金通貨に占める割合は 2.0%[2018 年]）。</p> <p>○DNB 銀行を除く北欧 3 カ国 6 銀行は、共通決済インフラの構築に向けた検討を継続中。貿易促進や雇用拡大等の効果を見込む。</p>
---	---